

日経xwoman ジェンダーギャップに関するアンケート

2020年3月20日～4月20日 回答者1423名

Q1 あなたの性別を教えてください。(一つだけ)		%	N	
1	女性	69.7	992	
2	男性	29.7	423	
3	その他	0.6	8	
		合計 N:	1423	

Q10 政治家、経営者、管理職などに女性が就任するのは、向いていると思いますか？(一つだけ)		%	N	
1	非常に向いている	13.6	193	
2	向いている	10.4	148	
3	男性と女性で、向き不向きは変わらない	69	982	男女で適正の差はないと認識
4	向いていない	2.1	30	
5	非常に向いていない	0.3	4	
		合計 N:	1423	

Q7 世界経済フォーラムが2019年に発表したジェンダーギャップ指数において、日本は153カ国中121位と過去最低、先進国の中でも最下位となりました。特に世界標準と比べて遅れているのは、政治家と経営者の女性の数が、日本では圧倒的に少ないことでした。この結果について、あなたはどのように思いますか、次のうちからひとつお選びください。		%	N	
1	非常に残念	57.3	816	非常に残念・残念で90.2%
2	残念	32.9	468	
3	残念でない	5.5	78	
4	まったく残念でない	2.8	40	
5	分からない	1.5	21	
		合計 N:	1423	

Q8 「非常に残念」「残念」と答えた方に聞きます。どうしたらジェンダーギャップを改善できると思いますか。有効と思うものをお選びください。		%	N	
1	日本企業も女性役員（執行役員以上）の比率を3割など一定数まで義務的に上げる（強制力のあるクォーター制）	35.1	500	
2	日本企業も女性管理職（課長以上）の比率を3割など一定数まで義務的に上げる（強制力のあるクォーター制）	38.9	554	
3	企業で女性管理職、役員を増やす努力目標を明確に掲げる（強制力はない）	18.6	265	
4	企業で働き方改革を進め、男性も家事育児をしやすくする	58.5	832	
5	企業で若手女性社員のリーダー育成をする	36.7	522	
6	企業で男女社員において、任せる仕事の格差をなくす	52.1	742	
7	企業で、セクハラ・マタハラ・パワハラをなくす	49	697	
8	企業で、介護と仕事の両立制度推進をする	43	612	
9	家庭で、男児と女児の教育に格差をなくす	45	640	
10	家庭で、父母の家事育児負担の格差（ワンオペ等）をなくす	61.6	876	企業・家庭の両方で、アンステレオタイプ（無意識の性的役割の偏り）をなくすこと
11	家庭で、介護の担い手に男女格差をなくす	49.5	705	
12	地域や学校で、PTAなどの担当者に男女格差をなくす	44.1	627	
13	その他（自由筆記） FAを表示	17.4	248	
14	無回答	9	128	
		合計 N:	1423	

Q12 働き方改革や女性活躍が以前より進んできていますが、いまだにあなたが組織で感じる「女性が働く上での障害や壁」は何でしょうか。（複数回答）		%	N	
1	男性に比べて昇進、昇格が少ない	41.4	589	
2	男性と女性で、担当させられる仕事内容に差がある	39.7	565	
3	男性に比べて、社内情報が得られにくい（男性だけのネットワーク）	30.4	433	
4	取締役がほとんど男性なので、男性の意見が通りやすく、女性の意見は通りにくい	38.9	554	
5	女性には苦手な仕事があるという偏見（営業が不得意、など）	40.1	570	
6	女性同士は仲が悪い、女性は精神的に弱い、などの偏見	30.6	435	
7	50-60代の管理職女性は「紅一点」が多く、他の女性社員の昇進を好まない（世代間ギャップ）	19.3	275	
8	女性で働き続けている人の絶対数が少なく、女性同士のネットワークが弱い	41.7	594	
9	男性同士の「忖度文化」に、違和感がある	41.7	593	
10	性別や年齢、価値観の多様性（ダイバーシティ経営）の効果が理解されていない	59.7	850	多様性（ダイバーシティ）経営について、真の理解がすすんでおらず、働きがい・働きやすさに、男女の差
11	その他 FAを表示	17.8	253	
12	わからない	3.1	44	
		合計 N:	1423	